

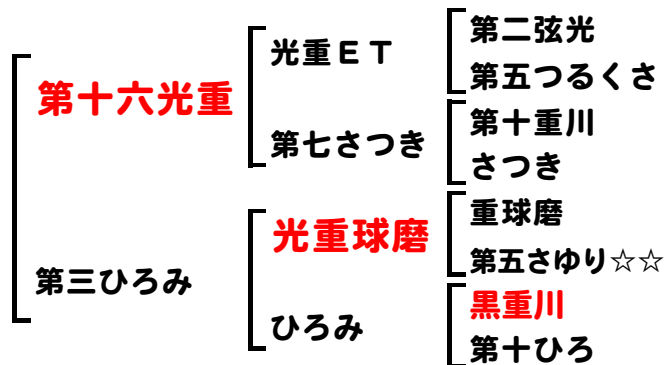
熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2015

たまみつしげイーティーアイ

褐毛和種種雄牛「球光重ET」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 枝肉重量とバラの厚さは歴代検定成績トップであり、さらにロース芯面積も優れ、増体性の改良に有効であり、「第十六光重」の血をひく種雄牛です。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3・4等級率)
去勢 12 頭	25.4	521.5	55.7	8.3	2.6	73.3	3.33	50.0% (6/12)
雌 4 頭	25.6	479.9	55.3	8.1	3.4	73.0	3.25	75.0% (3/4)

【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	1.48
ロース芯面積	小さい						大きい	1.89
バラの厚さ	薄い						厚い	2.14
皮下脂肪	厚い						薄い	1.73
脂肪交雑	少ない						多い	2.06

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる